

平成 28 年  
大分県鋁工業の生産動向

大分県企画振興部統計調査課

## (1) 概況

平成28年の大分県鉱工業生産指数（平成22年＝100）は、97.1で前年比▲2.5%となり、2年ぶりに低下した。

全国生産指数は97.6で前年比▲0.2%となり、2年連続で低下し、九州は103.4で前年比+0.6%となり、3年連続で上昇した。

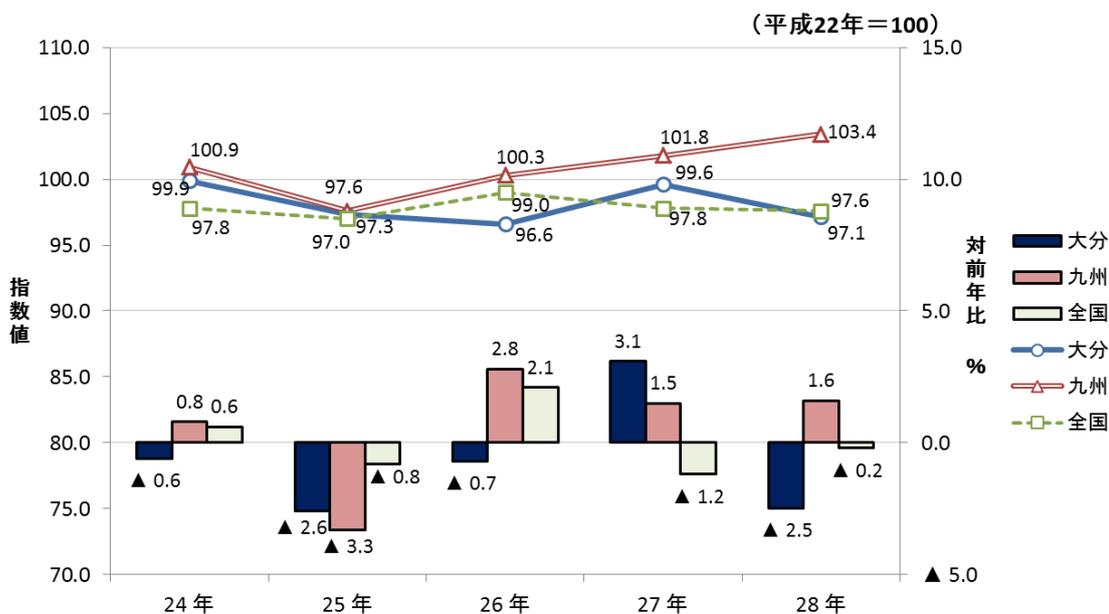
生産指数を業種別にみると、前年に比べ、プラスチック製品工業、非鉄金属・金属製品工業、鉱業などの5業種が上昇し、繊維工業、窯業・土石製品工業、化学・石油製品工業などの9業種が低下した。（統計表第1表）

特殊分類別（財別）では、最終需要財は前年比▲4.9%と3年ぶりに低下し、生産財は前年比▲1.1%と2年ぶりに低下した。（統計表第13表）

出荷指数は、91.8%で前年比▲1.4%となり、4年連続で低下した。業種別にみると、前年に比べ、非鉄金属・金属製品工業、プラスチック製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業などの6業種が上昇に、繊維工業、電子部品・デバイス工業、その他製品工業などの8業種が低下した。（統計表第2表）

在庫指数は、93.9で前年比▲2.0%となり、2年ぶりに低下した。業種別にみると、前年に比べ、プラスチック製品工業、食料品工業、はん用・生産用・業務用機械工業などが上昇し、繊維工業、窯業・土石製品工業、化学・石油製品工業などが低下した。（統計表第3表）

図1 生産指数及び対前年比の推移



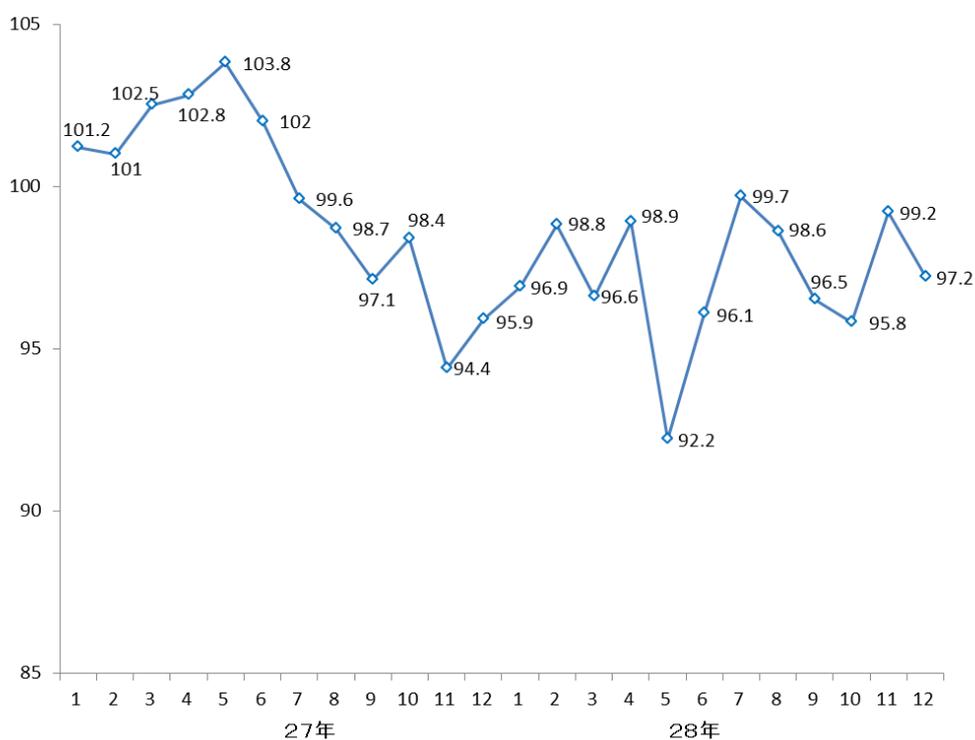
資料：統計表第1表

## ① 生産活動の特徴

### (ア) 生産指数は2年ぶりに低下

平成28年の生産指数は97.1で前年比▲2.5%となり、2年ぶりに低下した。

図2 月別生産指数（季節調整済指数）の推移



資料：統計表第7表

### (イ) 5業種が上昇、9業種が低下

平成28年の生産指数を業種別にみると、プラスチック製品工業が3年連続で上昇するなど、14業種中5業種が上昇した。一方、繊維工業が2年連続で低下するなど、9業種が低下した。（統計表第1表）

上昇した主な業種は、プラスチック製品工業（対前年比+11.1%）、非鉄金属・金属製品工業（同+3.2%）、鉱業（同+1.4%）などであり、低下した主な業種は繊維工業（同▲14.5%）、窯業・土石製品工業（同▲11.1%）、その他工業（同▲4.9%）などである。

## ② 四半期別の動向

表1は、平成28年の四半期別生産指数の推移を示したものである。

大分県の実業生産指数は、Ⅰ期とⅢ期が前期比で上昇したが、Ⅱ期、Ⅳ期は前期比で低下した。

業種別四半期別の動向は、5ページ表2のとおりである。

表1 四半期別生産指数（季節調整済み）の推移（平成22年=100）

区分	全国		九州		大分		
	指数	前期比(%)	指数	前期比(%)	指数	前期比(%)	前年同期比(%)
28年Ⅰ期	96.2	▲ 0.9	100.0	▲ 0.6	97.4	1.3	▲ 4.1
Ⅱ期	96.5	0.3	97.6	▲ 2.4	95.7	▲ 1.7	▲ 7.0
Ⅲ期	98.0	1.6	104.6	7.2	98.3	2.6	▲ 0.2
Ⅳ期	99.8	1.8	110.4	5.5	97.4	▲ 0.9	1.2

資料：統計表第10表

## 〈四半期別動向の詳細〉

### (ア) I期

生産指数は、97.4で前期比+1.3%と上昇し、この期は、全14業種中8業種が上昇、6業種が低下となった。

上昇した主な業種は、電気・情報通信機械工業（前期比+37.0%）、非鉄金属・金属製品工業（同+16.1%）、繊維工業（同+10.4%）などである。

一方、低下した主な業種は、電子部品・デバイス工業（前期比▲4.3%）、鉄鋼業（同▲3.4%）、その他工業（同▲2.3%）などである。

### (イ) II期

生産指数は、95.7で前期比▲1.7%と低下し、この期は、全14業種中6業種が上昇、8業種が低下となった。

上昇した主な業種は、電子部品・デバイス工業（前期比+7.8%）、プラスチック製品工業（同+6.2%）、鉄鋼業（同+1.8%）などである。

一方、低下した主な業種は、繊維工業（前期比▲13.2%）、窯業・土石製品工業（同▲9.2%）、はん用・生産用・業務用機械工業（同▲7.4%）などである。

### (ウ) III期

生産指数は、98.3で前期比+2.6%と上昇し、この期は、全14業種中11業種が上昇、3業種が低下となった。

上昇した主な業種は、化学・石油製品工業（前期比+6.7%）、非鉄金属・金属製品工業（同+5.0%）、パルプ・紙・紙加工品工業（同+4.7%）などである。

一方、低下した主な業種は、繊維工業（前期比▲6.8%）、電気・情報通信機械工業（同▲4.7%）、輸送機械工業（同▲0.5%）である。

### (エ) IV期

生産指数は、97.4で前期比▲0.9%と低下し、この期は、全14業種中6業種が上昇、8業種が低下となった。

上昇した主な業種は、プラスチック製品工業（前期比+18.4%）、非鉄金属・金属製品工業（同+5.4%）、はん用・生産用・業務用機械工業（同+2.3%）などである。

一方、低下した主な業種は、輸送機械工業（前期比▲10.8%）、電子部品・デバイス工業（同▲7.1%）、繊維工業（同▲5.1%）などである。

表2 業種別四半期別生産指数(季節調整済み指数)の推移

(平成22年=100)

業種別	生産指数				前期比(%)			
	H.28年 I期	II期	III期	IV期	H.28年 I期	II期	III期	IV期
鉱工業	97.4	95.7	98.3	97.4	1.3	▲ 1.7	2.6	▲ 0.9
製造工業	97.3	95.6	98.1	97.3	1.2	▲ 1.8	2.7	▲ 0.8
鉄鋼業	99.7	101.5	102.9	101.4	▲ 3.4	1.8	1.3	▲ 1.4
非鉄金属・金属製品工業	108.5	107.2	112.6	118.6	16.1	▲ 1.2	5.0	5.4
はん用・生産用・業務用機械工業	124.3	115.1	118.1	120.8	▲ 1.7	▲ 7.4	2.6	2.3
電子部品・デバイス工業	79.9	86.2	88.0	81.8	▲ 4.3	7.8	2.2	▲ 7.1
電気・情報通信機械工業	21.4	21.5	20.5	20.2	37.0	0.6	▲ 4.7	▲ 1.5
輸送機械工業	86.0	85.1	84.7	75.5	2.7	▲ 1.0	▲ 0.5	▲ 10.8
窯業・土石製品工業	80.0	72.6	73.0	73.9	3.6	▲ 9.2	0.5	1.3
化学・石油製品工業	100.2	93.6	99.9	98.0	1.2	▲ 6.6	6.7	▲ 1.9
プラスチック製品工業	119.5	127.0	131.0	155.1	▲ 1.2	6.2	3.2	18.4
パルプ・紙・紙加工品工業	97.7	98.8	103.4	100.3	▲ 2.3	1.1	4.7	▲ 3.0
繊維工業	45.8	39.8	37.1	35.2	10.4	▲ 13.2	▲ 6.8	▲ 5.1
食料品工業	99.6	97.2	98.1	95.6	1.9	▲ 2.5	0.9	▲ 2.5
その他工業	94.7	95.5	95.9	97.0	▲ 2.3	0.9	0.3	1.2
家具・木材・木製品工業	111.9	114.7	114.2	108.1	▲ 4.3	2.5	▲ 0.4	▲ 5.3
印刷業	80.3	82.5	81.7	82.1	▲ 2.2	2.8	▲ 1.0	0.4
その他製品工業	89.8	87.7	87.3	99.8	0.8	▲ 2.4	▲ 0.4	14.3
鉱業	107.6	103.3	103.8	105.3	5.9	▲ 4.0	0.5	1.4

資料：統計表第10表

### ③ 業種別寄与度

総合の増減分に対して、その内訳である業種の増減分がどの程度影響を与えたかを示したものが寄与度である。

平成28年の生産指数は、表3でみられるように、前年比▲2.5%と低下した。この増減に対して上昇に寄与したものが5業種、低下に寄与したものが9業種となっている。

上昇に寄与した主な業種は、プラスチック製品工業（寄与度+0.4%）、非鉄金属・金属製品工業（同+0.3%）、食料品工業（同+0.1%）などである。

一方、低下に寄与した主な業種は、化学・石油製品工業（寄与度▲1.2%）、はん用・生産用・業務用機械工業（同▲0.6%）、窯業・土石製品工業（同▲0.5%）などである。

また、図3はその年の生産指数の伸びに対する業種別の寄与度について、平成24年以降の推移を示したものである。

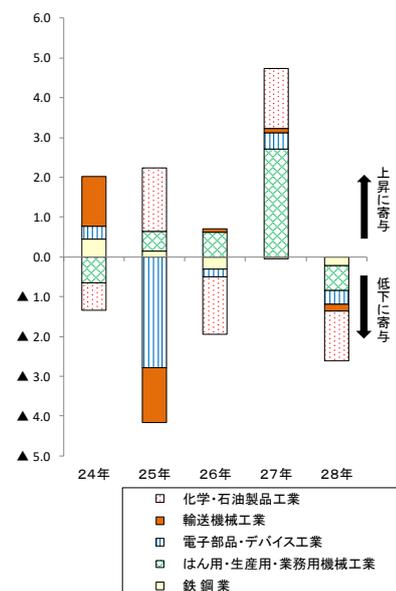
表3 業種別寄与度表（平成28年）

業種別	寄与度(%)
鋳工業	▲ 2.5
製造工業	▲ 2.5
鉄鋼業	▲ 0.2
非鉄金属・金属製品工業	0.3
はん用・生産用・業務用機械工業	▲ 0.6
電子部品・デバイス工業	▲ 0.4
電気・情報通信機械工業	▲ 0.0
輸送機械工業	▲ 0.2
窯業・土石製品工業	▲ 0.5
化学・石油製品工業	▲ 1.2
プラスチック製品工業	0.4
パルプ・紙・紙加工品工業	0.0
繊維工業	▲ 0.1
食料品工業	0.1
その他工業	▲ 0.1
家具・木材・木製品工業	▲ 0.1
印刷業	▲ 0.1
その他製品工業	▲ 0.1
鋳業	0.0

注1)本表は業種ごとに四捨五入しているので内訳と合計が一致しないことがある。

注2)寄与度(%)=対前年比(%)×構成比(%)÷100で計算している。

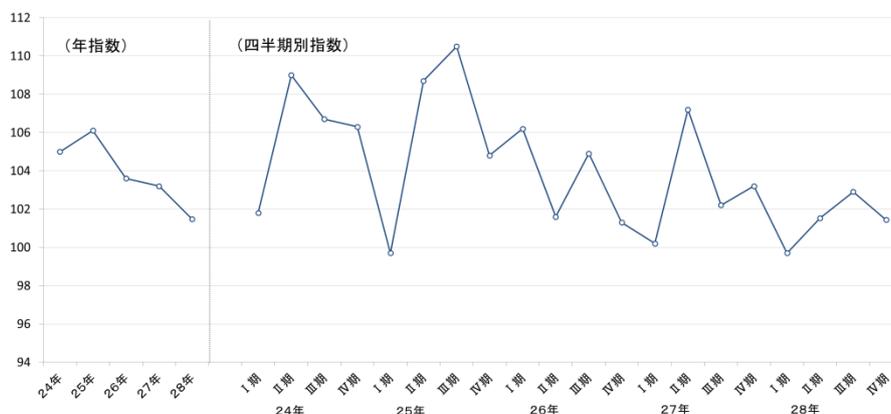
図3 鋳工業生産指数の増減分に対する主要5業種寄与度の推移



## (2) 業種別の生産動向

[年指数は原指数、四半期別指数は季節調整済み指数 平成22年=100]

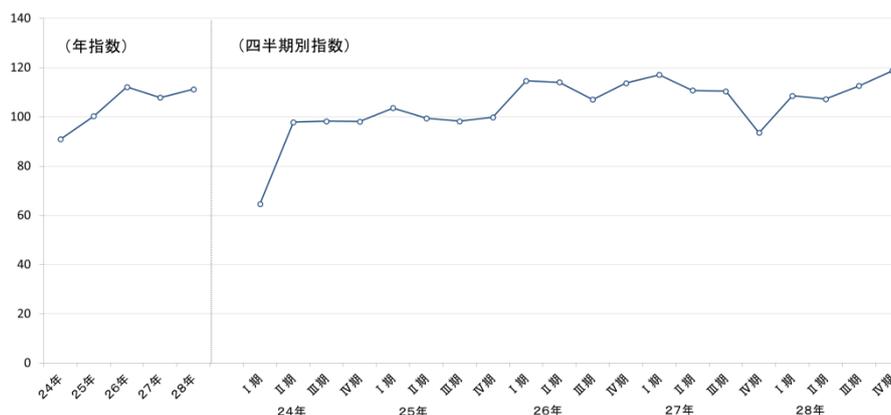
### ① 鉄鋼業



平成28年の鉄鋼業の生産指数は101.5で、前年比▲1.7%と3年連続の減少となった。

[鉄鋼業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
平成28年	101.5	-	▲1.7
I期	99.7	▲3.4	▲0.5
II期	101.5	1.8	▲5.3
III期	102.9	1.3	0.7
IV期	101.4	▲1.4	▲1.7

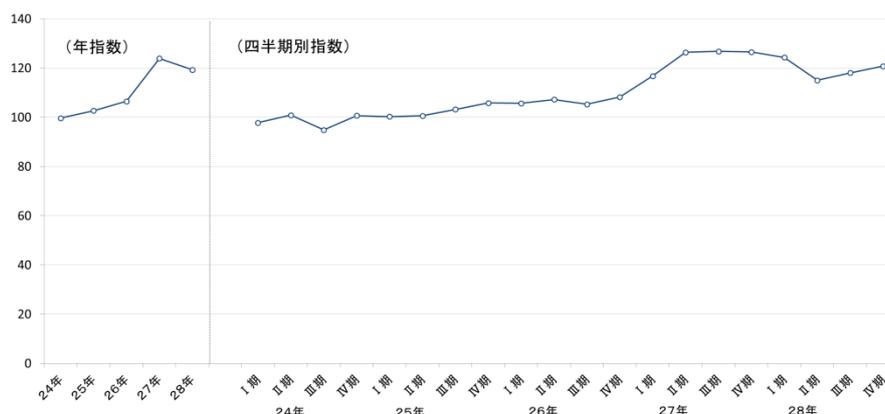
### ② 非鉄金属・金属製品工業



平成28年の非鉄金属・金属製品工業の生産指数は111.2で、前年比+3.2%と2年ぶりの上昇となった。

[非鉄金属・金属製品工業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
平成28年	111.2	-	3.2
I期	108.5	16.1	▲7.3
II期	107.2	▲1.2	▲3.2
III期	112.6	5.0	2.0
IV期	118.6	5.4	26.9

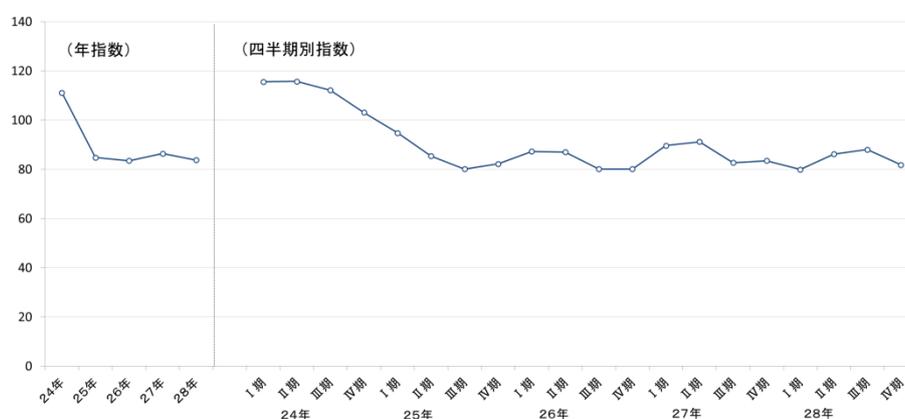
③ はん用・生産用・業務用機械工業



平成28年のはん用・生産用・業務用機械工業の生産指数は119.3で、前年比▲3.7%と4年ぶりの低下となった。

[はん用・生産用・業務用機械工業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
平成28年	119.3	-	▲3.7
I期	124.3	▲1.7	6.4
II期	115.1	▲7.4	▲9.0
III期	118.1	2.6	▲6.9
IV期	120.8	2.3	▲4.5

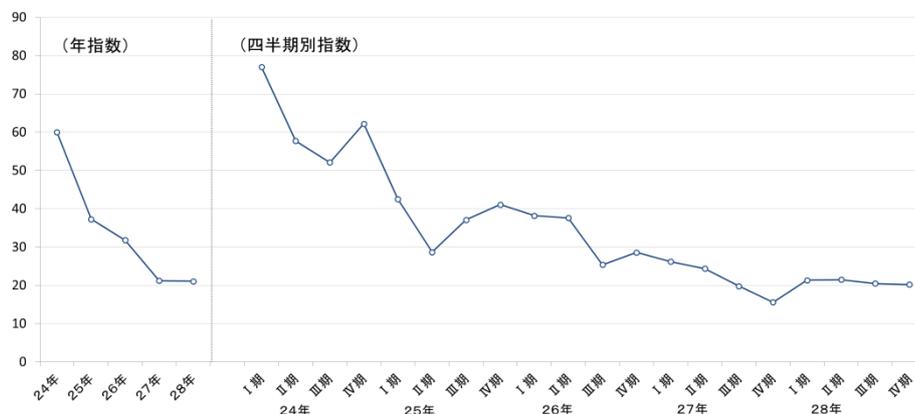
④ 電子部品・デバイス工業



平成28年の電子部品・デバイス工業の生産指数は83.8で、前年比▲3.0%と2年ぶりに低下した。

[電子部品・デバイス工業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
平成28年	83.8	-	▲3.0
I期	79.9	▲4.3	▲10.8
II期	86.2	7.8	▲5.5
III期	88.0	2.2	6.4
IV期	81.8	▲7.1	▲2.0

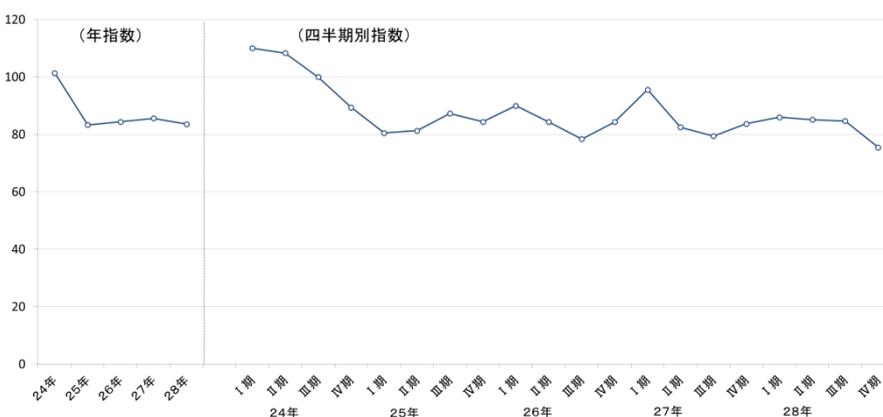
⑤ 電気・情報通信機械工業



平成28年の電気・情報通信機械工業の生産指数は21.1で、前年比▲0.5%と4年連続の低下となった。

[電気・情報通信機械工業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
平成28年	21.1	-	▲0.5
I期	21.4	37.0	▲18.4
II期	21.5	0.6	▲11.9
III期	20.5	▲4.7	3.5
IV期	20.2	▲1.5	29.5

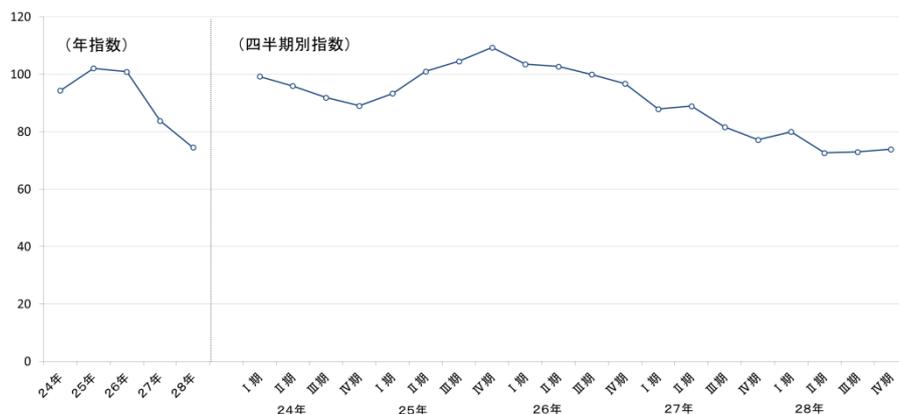
⑥ 輸送機械工業



平成28年の輸送機械工業の生産指数は83.6で、前年比▲2.3%と3年ぶりに低下した。

[輸送機械工業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
平成28年	83.6	-	▲2.3
I期	86.0	2.7	▲10.1
II期	85.1	▲1.0	3.2
III期	84.7	▲0.5	6.6
IV期	75.5	▲10.8	▲9.8

⑦ 窯業・土石製品工業



平成28年の窯業・土石製品工業の生産指数は74.5で、前年比▲11.1%と3年連続で低下した。

[窯業・土石製品工業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
平成28年	74.5	-	▲11.1
I期	80.0	3.6	▲9.0
II期	72.6	▲9.2	▲18.3
III期	73.0	0.5	▲10.6
IV期	73.9	1.3	▲4.3

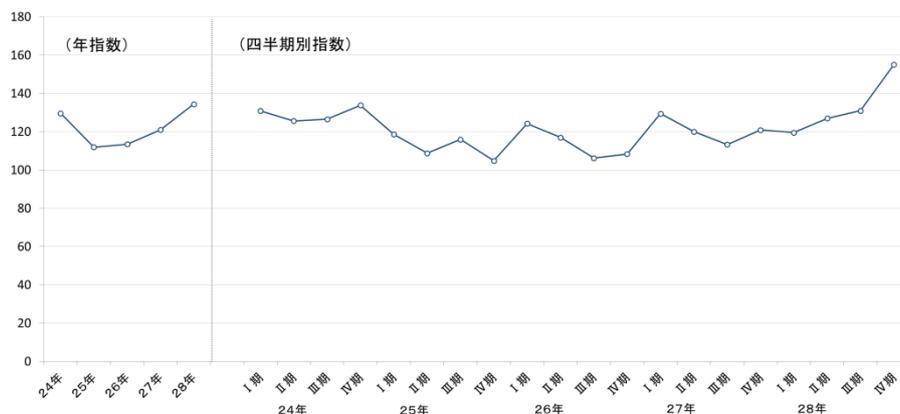
⑧ 化学・石油製品工業



平成28年の化学・石油製品工業の生産指数は97.4で、前年比▲8.2%と2年ぶりに低下した。

[化学・石油製品工業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
平成28年	97.4	-	▲8.2
I期	100.2	1.2	▲7.9
II期	93.6	▲6.6	▲18.7
III期	99.9	6.7	▲4.2
IV期	98.0	▲1.9	▲1.0

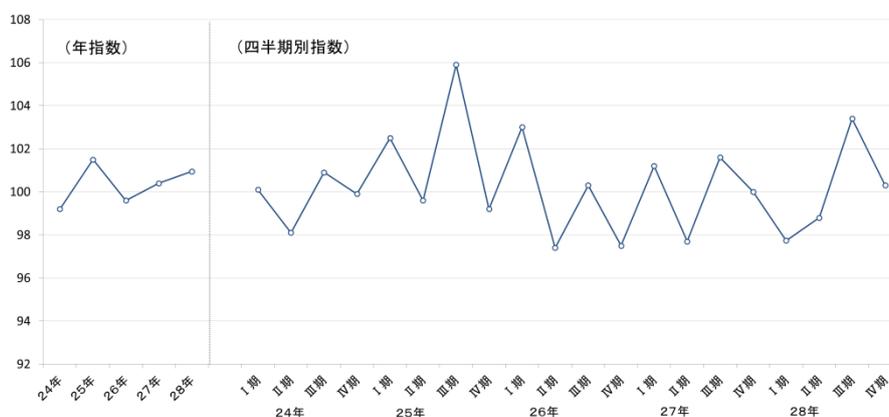
⑨ プラスチック製品工業



平成28年のプラスチック製品工業の生産指数は134.4で、前年比+11.1%と3年連続で上昇した。

[プラスチック製品工業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
平成28年	134.4	-	11.1
I期	119.5	▲ 1.2	▲ 7.7
II期	127.0	6.2	5.8
III期	131.0	3.2	15.6
IV期	155.1	18.4	28.3

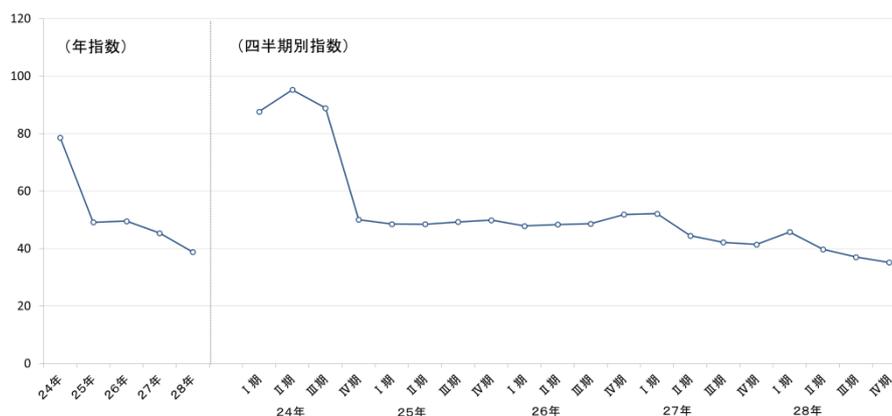
⑩ パルプ・紙・紙加工品工業



平成28年のパルプ・紙・紙加工品工業の生産指数は101.0で、前年比+0.5%と2年連続で上昇した。

[パルプ・紙・紙加工品工業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
平成28年	101.0	-	0.5
I期	97.7	▲ 2.3	▲ 3.4
II期	98.8	1.1	1.1
III期	103.4	4.7	1.8
IV期	100.3	▲ 3.0	0.3

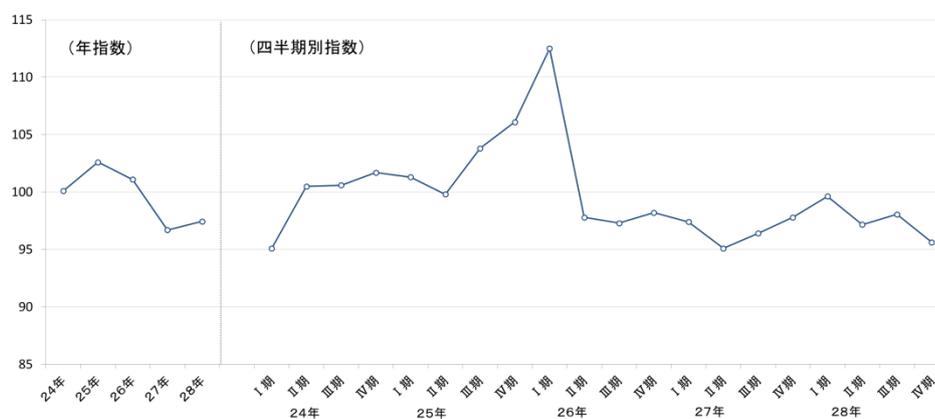
### ⑪ 繊維工業



平成28年の繊維工業の生産指数は38.8で、前年比▲14.5%と2年連続で低下した。

[繊維工業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
平成28年	38.8	-	▲14.5
I期	45.8	10.4	▲12.2
II期	39.8	▲13.2	▲10.6
III期	37.1	▲6.8	▲12.1
IV期	35.2	▲5.1	▲15.2

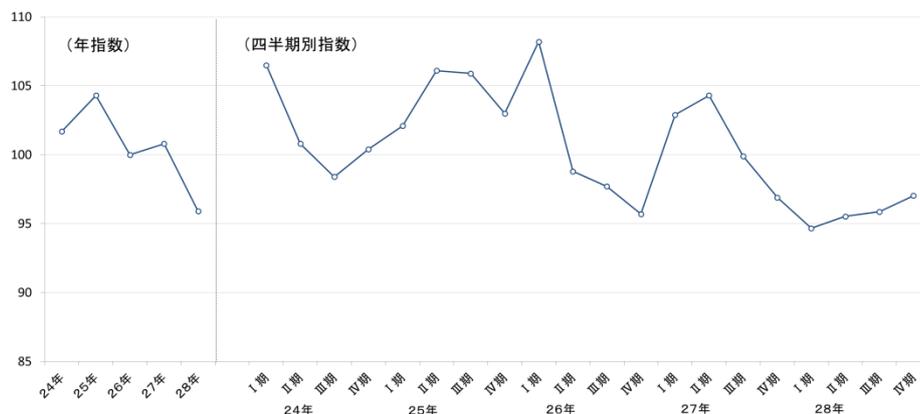
### ⑫ 食料品工業



平成28年の食料品工業の生産指数は97.5で、前年比+0.8%と3年ぶりに上昇した。

[食料品工業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
平成28年	97.5	-	0.8
I期	99.6	▲2.3	2.3
II期	97.2	▲2.5	2.2
III期	98.1	0.9	1.7
IV期	95.6	▲2.5	▲2.2

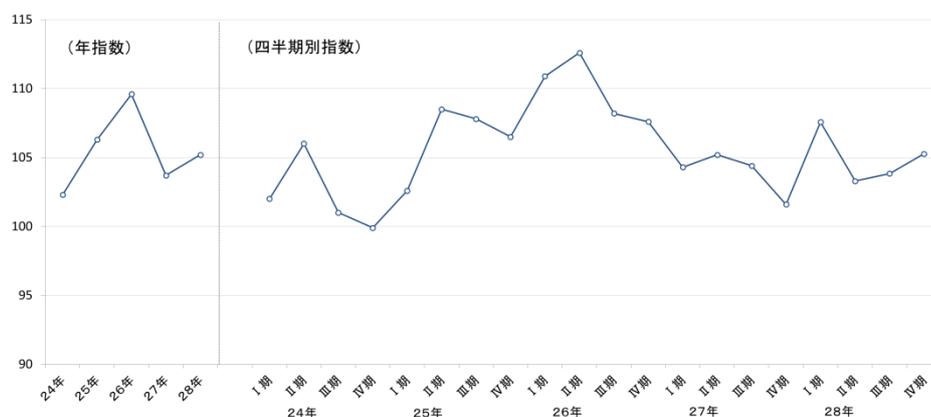
⑬ その他工業



平成28年のその他工業の生産指数は、95.9で、前年比▲4.9%と2年ぶりに低下した。

[その他工業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
平成28年	95.9	-	▲4.9
I期	94.7	▲2.3	▲8.0
II期	95.5	0.9	▲8.4
III期	95.9	0.3	▲4.0
IV期	97.0	1.2	0.1

⑭ 鉱業



平成28年の鉱業の生産指数は105.2で、前年比+1.4%と2年ぶりに上昇した。

[鉱業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
平成28年	105.2	-	1.4
I期	107.6	5.9	3.1
II期	103.3	▲4.0	▲1.8
III期	103.8	0.5	▲0.5
IV期	105.3	1.4	3.6

### (3) 特殊分類別（財別）の生産動向

#### ① 最終需要財

平成28年の最終需要財の生産指数は、89.9で前年比▲4.9%と3年ぶりに低下した。

注) 最終需要財：鉱工業または他の産業に原材料などとして投入されない最終製品。ただし、建設財を含み、企業消費財を除く。

#### (ア) 投資財

平成28年の投資財の生産指数は、102.3で前年比▲5.8%と4年ぶりに低下となった。内訳をみると資本財の生産指数は、107.5で前年比▲3.5%と3年ぶりに低下となり、建設財の生産指数は、87.4で前年比▲13.1%と2年連続で低下した。

注) 投資財：資本財と建設財の合計。資本財とは、主として家計以外で購入される財で耐用年数1年以上の財である。建設財とは、建築用と土木用の合計である。

#### (イ) 消費財

平成28年の消費財の生産指数は、74.4で前年比▲3.1%となり、8年連続の低下となった。内訳をみると、耐久消費財の生産指数は、38.9で前年比▲4.4%と4年連続の低下となり、非耐久消費財の生産指数は89.5で前年比▲3.0%と3年連続で低下した。

注) 消費財：主として家計で購入される財。耐久消費財とは、耐用年数が1年以上で比較的購入単価が高い財である。非耐久消費財とは、耐用年数が1年未満、または比較的購入単価が安い財である。

#### ② 生産財

平成28年の生産財の生産指数は、102.0で前年比▲1.1%と2年ぶりに低下した。

注) 生産財：鉱工業及び他の産業に原材料などとして投入される製品。ただし、輸出用の中間生産物、企業消費財を含み、建設財を除く。

(統計表13表)

表4 特殊分類別（財別）生産指数

（平成22年=100）

分類	生産指数	前年比(%)
鉱工業	97.1	▲ 2.5
最終需要財	89.9	▲ 4.9
投資財	102.3	▲ 5.8
資本財	107.5	▲ 3.5
建設財	87.4	▲ 13.1
消費財	74.4	▲ 3.1
耐久消費財	38.9	▲ 4.4
非耐久消費財	89.5	▲ 3.0
生産財	102.0	▲ 1.1

資料：統計表13表

図4は、平成24年以降の特殊分類別（財別）生産指数の推移を表したものである。平成28年における最終需要財の生産指数は2年ぶりの低下、生産財についても2年ぶりの低下となった。

図4 特殊分類別（財別）生産指数の推移

（平成22年=100）

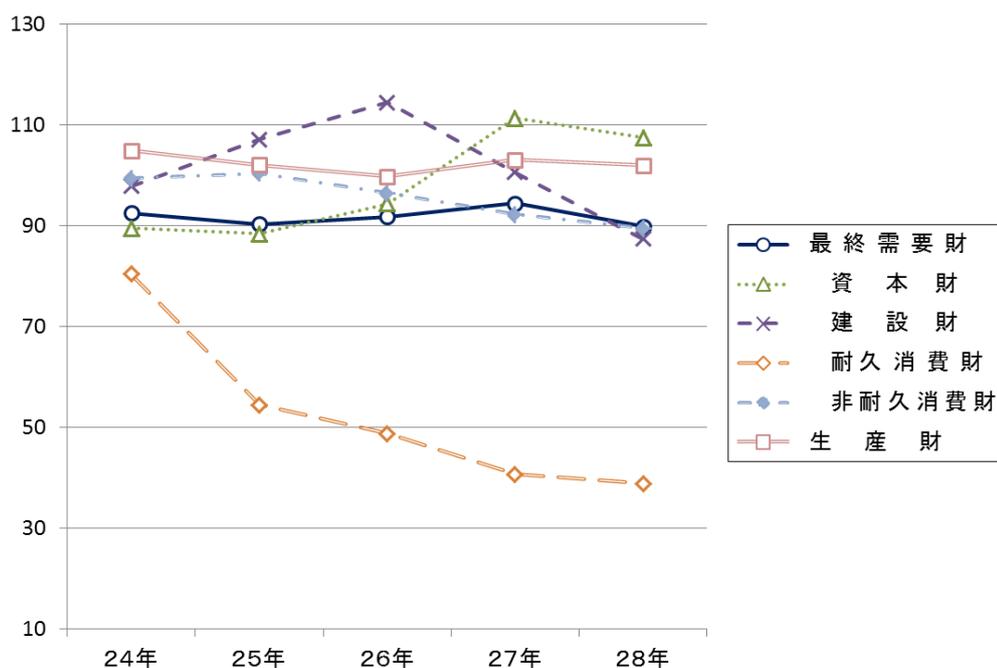


図5は、鉱工業生産指数の増減分に対する財別の寄与度について、平成24年以降の推移をまとめたものである。

図5 鉱工業生産指数の増減分に対する財別寄与度の推移

